



## 子どもの努力と笑顔に元気をもらって

先週 6 時間目、小学部 4 年の立松学級にて先生方が参加する国語の研究授業が行われました。どうしたら子どもたちが、興味を持って漢字学習をし、漢字の基礎力をつけることができるか、補習校にとっては常に大きな課題です。10名の先生が後ろで参観されている中、6時間目の疲れも見せず、立松先生のとてきぱきとした指導に学級の子どもたちは、国語辞典を活用し、よく手をあげ、発表を続け、活気ある授業でした。「漢字のしりとりに」でつながる熟語の面白さは、子どもたちの漢字への興味づけとなり、習得につながることでしょう。各先生方は、この後、授業の講評(感想・意見)をメールで交換しながら、互いに研修を深めています。



研究授業の様子

また、この日は、3時間目、幼稚部で園児達が待ちに待った『お店屋さんごっこ』がありました。ようちぶショッピングセンター(教室)を訪ねてみると、教室一杯に色とりどりの紙工作のドーナツやピザ、たこ焼き、カップケーキ、綿菓子などが所狭しと並べられていました。上手に紙を丸めたり、広げたり、可愛い手作りの商品に驚きです。全て「表現領域」の学習活動で教室でこれまで少しずつ作られたものでした。「いらっしゃい」と呼びかける園児に、はにかみながら手作りお金を払う園児達、実にほほえましい光景でした。

この「お店屋さんごっこ」には、お母さん方のご支援やお手伝いがありました。隣室では、お母さん手作りの紙工作のカップケーキや時計のお店があり、又、ボーリングや輪投げ、お手玉、金魚すくいなどの手作り遊びコーナーもあってゲームを楽しんでいました。的あてゲームでは、先日の学年交流会で中3生に教えてもらった色紙の手裏剣がここでの遊びに使われていました。大きな紙袋一杯にたくさんのお買いをした園児達、紙袋から再び品物をだして満足そうでした。幼稚園教育に不可欠な「ごっこ遊び」で園児もお母さんたちも笑顔一杯の時間となりました。「授業中は、小さな声しか出さない園児が、大きな声を出して呼び込みをしている姿を見ました」と担任の大西先生も満足そうでした。お手伝いくださったお母さん方、高校生ボランティアの皆さん、ありがとうございました。尚、お買い物はようちぶ円使用のため、「おさいふ」と「ようちぶ円」セットを1ドルで両替してからのお買い物でした。この収益金(\$20)は、被災地支援の義援金となりました。



**9月24日は定例総会②です。**総会は、年間予算の執行状況の中間報告が中心議題です。是非、ご参加ください。 運営委員会代表会長 出村 健